

特集 ART WAVE FROM THE WEST

# 佐世保美術展

市民の文化活動の拠点として市民の皆さんに愛され親しまれている文化施設「博物館島瀬美術センター」。ことし4月からは指定管理制度を導入し、「民間の発想ならではの特色や魅力を高めたイベント企画などを展開することで、より多くの方に多様な芸術文化に触れてもらうことを目指しています。

その第一歩として、5月には市民の芸術の祭典として親しまれてきた「佐世保市民展」を新たに「佐世保美術展」として開催し、内容もリニューアル。出品資格を市内から西九州させば広域都市圏在住者に広げ、これまでの6部門（洋画、日本画、書、デザイン、写真、彫刻・工芸）に新たにクリエイティブ部門を加え、283点の応募がありました。

また、今回はアニメーションの美術監督として数々の名作に携わってこられた山本二三さんをゲスト審査員に迎え、特賞1点と大賞5点を決定しました。今回の特集では、特賞と各部門で大賞を受賞された皆さんの作品の見どころなどを紹介し、読者の皆さんも来年の美術展に向けて作品づくりに挑戦してみませんか。

特賞 洋画 保護色魚群図 岡本 泰彰さん(西海市)

## ①制作期間②作品に対する思い③作品の見どころ④美術展への思い

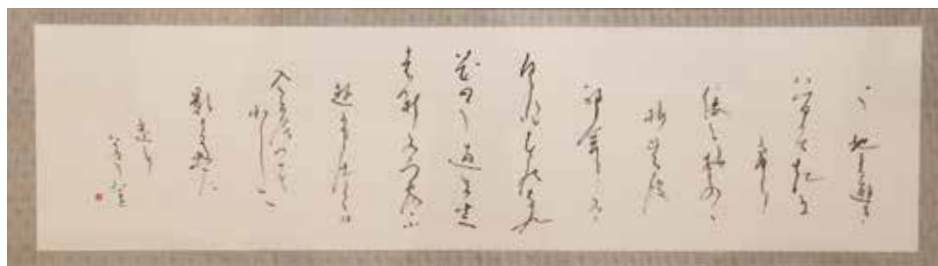
①約2～3カ月(他数点と同時進行)

②海外で作家活動をしていましたが、2019年後期に一時帰国の予定で帰国し、その後新型コロナウイルスの影響もあり、滞在スケジュールなどが大幅に変更になりました。その間、地元である長崎県に滞在中で海外にいた時とは環境が変わり、魚の情報がたくさん入りました。海が近く、魚も多く、見たり食べたりする施設も豊富です。そういった影響から海や魚をテーマにした展覧会を企画・開催し、そこに向けた作品群の中の1枚がこの作品です

③江戸時代中期の京都で活躍した絵師・伊藤若冲の作品で「魚群図」という絵があります。そういった作品を基に、保護色を持っている熱帯魚などの魚を捕食する別の生き物が、捕食される側になったと仮定し、その保護色を持つ魚の模様や色のうち、どれがオリジナルのものか、また進化の過程でどのように変わったのかを自分なりに考えました。その結果、保護色としての役割を果たしているのではないかと思う模様や色を背景と溶け込むように制作しま

した。それらを想像して自分なりの答えを出すのに多くの時間を費やしました

④ことしから佐世保美術展に変わり、近隣市町からも参加できるようになったため、西海市在住の私も応募しました。また、以前から佐世保の美術振興に携わる方々から、佐世保市民展の話聞いていました。ゲスト審査員の作品も興味深いものがあり、いろいろな事が重なり応募しようと決めました。特賞を受賞したことは大変うれしく思いますが、まだまだ私の作品は甘い箇所が多いので、より良い作品を作り発表していきたいと思えます



「春の歌」川畑虹華さん



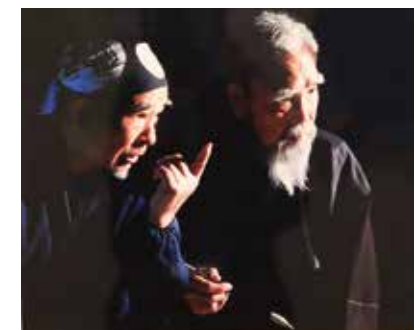
「源流回帰」山田孝一さん



「レザー 風神雷神図」吉田聡さん



「参道」松田直明さん



「手ほどき」夫津木節子さん

佐世保美術展の  
入賞作品の一部



大賞 写真 一筆への思い 藤村 順子さん(佐世保市)

- ① 2週間
- ② おとし、高校書道大会を見に行き、そこで高校生の生き生きとしたパフォーマンスを初めて目にして感動し、この1枚を撮影しました
- ③ 思うような鮮やかな朱墨の色が出ず、苦労しました。光と影のバランスを工夫しました
- ④ 今回の出品に当たり、作品のモデルである女子高校生に承諾を得るため作品をお渡ししたところ、本人とご家族にとっても喜んでいただきました。また、彼女も今回の書部門で大賞を受賞されており、みんなで「ミラクルだ」と盛り上がりました。4年前に市長賞を受賞しましたが、今回はその何倍も感激しました



大賞 日本画 きれいだね 植木 美沙子さん(佐世保市)

- ① 約1カ半月
- ② 大村市の松原宿ひなまつりに行った時、ひな人形や吊るし飾りを見て、吊るし飾りの美しさ、かわいらしさを絵に描きたいと思い、この作品を制作しました
- ③ 吊るし飾りは日本画らしく平面的な色塗りで、鮮やかに仕上げました。人物は陰でも黒くなく、かつ人物らしい色を入れずに仕上げたいという思いがあり、色の選定に悩みました
- ④ 以前通っていた教室の先生から誘いがあり、また、今回山本二三さんがゲスト審査員ということを知り、出展しました。結婚後はあまり絵を描いておらず、久しぶりに出展した作品で、このような賞をいただき、家族全員大喜びでした。本当にありがとうございます



大賞 書 漢詩 波江野 愛子さん(佐世保市)

- ① 約2週間
- ② 中国の唐の詩人・王昌齡おうしやうれいが詠んだ詩の一節で七言絶句の一部、14文字を放ち書きされたものを書きました。何事にも積極的に挑戦できるような人になりたいという思いで、これまで全く触れたことのなかったこの作品を選び、私自身の大きな変化となる一歩だとワクワクしながら制作しました
- ③ 1文字1文字の個性、黒を引き立たせる余白、それに合う多彩な線質の3つのことを意識して作品を制作しました
- ④ 高校生の時から出展し始め、今回で3回目です。ことし4月から一人暮らしを始め、書道と向き合う時間が今までより少なくなり、焦る気持ちもありましたが、その分集中し、一筆一筆に思いを込めた作品だったため、このような賞をいただきとてもうれしかったです



大賞 デザイン 倒れない孤独 納所 碧衣さん(佐世保市)

- ① 約1カ月
- ② この作品には、「孤独はいつか個性を育てるものになる」というメッセージを込めています
- ③ 顧問の先生や先輩、同級生に何度も見ていただき、修正を加えながら制作を行いました。フォトショップやイラストレーターなどの画像編集ソフトの扱いに苦労しましたが、大賞に選ばれてすごいです
- ④ 今回の賞に満足することなく、さらに良い作品を作ることができるように、これからも制作に励んでいきたいと思っています





# 令和3年5月20日から 「避難指示(警戒レベル4)」で必ず避難！ 「避難勧告」は廃止です

大雨によって洪水や土砂災害の恐れが高まり、避難が必要な状況となった際、5段階の「警戒レベル」を用いて本市から避難情報を発令します。この「警戒レベル」が災害対策基本法の一部改正によって5月20日から変更され、これまでの「避難勧告」が廃止となり、「避難指示」に一本化されました。自分の周りの状況や、国や県が発表する防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動を取りましょう。

警戒レベル	新たな避難情報等	廃止
5	 災害発生 又は切迫 <b>緊急安全確保※1</b> <small>きんきゆうあんぜんかくほ</small>	これまでの避難情報等 <b>災害発生情報</b> <small>(発生を確認したときに発令)</small>
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	 災害の おそれ高い <b>避難指示※2</b> <small>ひなんしじ</small>	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり <b>高齢者等避難※3</b> <small>こうれいしゃとうひなん</small>	<b>避難準備・ 高齢者等避難開始</b>
2	 気象状況悪化 大雨・洪水・高潮注意報 <small>(気象庁)</small>	大雨・洪水・高潮注意報 <small>(気象庁)</small>
1	 今後気象状況 悪化のおそれ 早期注意情報 <small>(気象庁)</small>	早期注意情報 <small>(気象庁)</small>

- ※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
- ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
- ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

問い合わせ 防災危機管理局 ☎ 24-1111

大賞

彫刻・工芸

Standing in the Bog

戸川 五十生さん(佐賀県有田町)

- 約1年
- 国内外での展示がほぼ中止になり、制作のモチベーションも落ち気味でしたが、時間に追われず物作りをするチャンスでもあると思い、手を動かしました。タイトルの和訳「沼に立つ」の通り、ドロドロの沼に足を取られながらも先を見つめる、ストレートな表現です
- 胴体に虫食い穴が出てきたことは予想外でしたが、良いアクセントになりました。丸太をそのまま使うと後で割れやねじれが出てくることもありますが、一部丸太の部分を残すことで、木が立っていた(生きていた)時の姿も想像していただければと思います
- ことしから有田町からも応募できることを佐世保の方から伺い、応募しました。賞をいただき光栄です。ありがとうございました



博物館島瀬美術センター 展覧会  
ゴジラシリーズを支えた特撮映画美術監督  
井上泰幸展



三浦町教会、佐世保港、西海橋、針尾無線電信所などが登場する「空の大怪獣ラドン」「日本海大海戦」といった特撮映画を手掛けた美術監督・井上泰幸氏の業績を写真や愛用の道具、デザイン画、図面、復元模型で振り返る展覧会です。

日程 7月17日④～8月29日④ 10時～18時(最終入館は17時30分)  
料金 一般1,000円、中学生600円(前売り)  
※当日200円増し。小学生以下、障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1人は無料。  
④博物館島瀬美術センター ☎ 22-7213

TM & © TOHO CO., LTD.